

精一杯の愛でした。

その手紙は、

35年目のラブレター

笑福亭鶴瓶 原田知世
重岡大毅 上白石萌音
徳永えり ぎい子 辻本祐樹 本多力
江口のりこ 瀬戸琴楓 白鳥晴都 くわばたりえ
笹野高史 安田顕

監督・脚本：塚本連平 音楽：岩代太郎
主題歌：秦基博「ずっと作りかけのラブソング」(UNIVERSAL MUSIC / AUGUSTA RECORDS)

企画・プロデュース：森谷雄 プロデューサー：岡部直一朗 谷口俊希 制作プロデューサー：宮崎秀一
音楽プロデューサー：津島宏一 キヤスティングプロデューサー：林まゆみ 宣伝プロデューサー：三橋剛 ラインプロデューサー：松村龍一
撮影：清久美延 美術：久遠朝日香 照明：佐藤宗史 装飾：平井浩一 録音：中里崇 編集：上野聡一 VFX：木村康次郎 音響効果：伊藤福雄
スクリーンライター：黒木ひらみ 衣裳：安本茉莉 江藤三絵 ヘアメイク：田中マリ子 梅原まこと 助監督：山本亮 制作担当：浅野道彦
配給：東映 企画：アトム・ビー 制作プロダクション：東映東京撮影所 ©2025「35年目のラブレター」製作委員会

心温まる感動の実話

読み書きできない夫と幸せを教えてくれた妻が歩んだ人生



上映 **9月5日(土)9時30分** (字幕あり120分)

©2025「35年目のラブレター」製作委員会

会場 市立生涯学習センター2階多目的ホール(開場9時)

定員 300名(要事前申込)・入場無料

申込期間 8月4日(火)~8月31日(月)又は定員に達するまで

申込方法 ①来所 ②電話 ③FAX ④ホームページ

①②平日9時~5時 ③④毎日24時間受付

保育あり(申込と同時にお子様のお名前と年齢を添えてお申込みください)

主催：高槻市教育委員会

企画・運営：(一社)高槻市人権まちづくり協会

☎647-7825/FAX647-7233



詳細はHPをごらんください

2007

結婚35年

1972

出会い



最愛の妻へこれまでの感謝を込めて、この「ラブレター」を贈る——
 寄り添い、支え合って生きてきた35年。

「君は、僕と結婚して、幸せでしたか？」

Story

西畑保、65歳。文字の読み書きができない。そんな彼の側にはいつも最愛の妻・餃子がいた。

保は貧しい家に生まれ、ほとんど学校へ通えず大人になった。生きづらい日々を過ごしてきたが、餃子と運命的に出会い、めでたく結婚。しかし、その手放したくない幸せ故に保は読み書きができないことを言い出せずにいた。半年後、ついにひた隠しにしていた秘密が露見し別れを覚悟する保だったが、餃子は保の手をとりながらこう告げた。

「今日から私があなたの手になる」

その言葉に、その眼差しに、保は救われた。

どんな時も寄り添い支えてくれた餃子へ感謝のラブレターを書きたい。定年退職を機に保は一大決心し夜間中学に通い始める。担任の谷山恵先生のじっくりと粘り強い教や年齢・国籍も異なる同級生たちと共に学ぶ日々で少しずつ文字を覚えていく保。だが老齢のため物覚えも悪く、気付けば5年以上の月日が経過した頃、一字また一字と書いては消された書くひたむきな保と、それを見てもなく見守る餃子は結婚35年目を迎えていた。

変わらない日常がいつまでも続くと思っていた。なかなか書き上げられずにいたラブレターがようやく形になろうとしていた頃、餃子が病魔におかされて……。